

ぼくの学校、わたしの学校

市内の小学校を児童・生徒のみなさんがPR!

要小学校



豊かな心を持ち、自ら学び自ら考え主体的に取り組む児童の育成

◆所在地 行方市小幡 940 ◆電話 0291-35-2773

◆学校長 原 英夫 ◆職員数 17人 ◆児童数 115人

◆開校日 明治9年 4月



母親文庫委員さんによる読み聞かせ

明るく素直なまっ子
本校は、北浦と霞ヶ浦のほぼ中間に位置し、自然に恵まれた小学校です。児童は、明るく素直で何事にも積極的に取り組んでいます。週3回の読書タイムでは教師による読み聞かせも行っています。また、母親文庫委員さんによる大型紙芝居も児童にとっても人気があります。授業においては、児童が「できた」「わかった」を感じられるように、児童一人一人の実態に応じた指導に心がけています。業間には、縦割り班毎に仲良く運動場で遊んでいます。遊びを通して、相手を思いやる気持ちが養われています。

音楽朝会では、全児童で楽しく合唱をしています。練習した曲は、掃除の時間にも流し、自然に口ずさめるように工夫しています。

要小学区には、PTA・育成会・交通安全母の会・地域の方々が一丸となり取り組む「正月お楽しみ会」があります。本年度は1月22日(土)に行われます。最もメインとなるのが「どんど焼き」です。昔から農家で伝わる行事で、篠竹で小屋をつくり、火をつけて無病息災等を祈るというものです。地域のお年寄りや子ども達との昔遊び、願いを込めた風船飛ばし、餅つき等もあり、楽しいひとときを過ごします。



伝統の「どんど焼き」は大迫力です

35年の伝統「どんど焼き！」
11月の部会音楽会に向け、全児童心ひとつにして取り組んでいます。



かけた やまと 掛田 山人さん (2年)

みんなで楽しくにぎやかにご飯を食べる給食の時間が好きです。昼休みになにを遊ぶかが相談したりもします。

要小学校の自慢は歩いて行けるお寺があることと、昼休みに先生達が外で一緒に遊んでくれることです。



かしわばら たかふみ 柏原 隆文さん (6年)

学校で一番楽しいことは読書です。要小学校では、読書タイムといって自由に本を読む時間があります。1年間で50冊の本を読むのが目標です。

また、お正月お楽しみ会は要小学校の自慢です。地域の人と昔の遊びをしたり餅を食べたりします。なかでもどんど焼きはすごく迫力があります。

◆編集後記◆
NHKの番組で行方市を訪れた女優の奥山佳恵さん。打合せの合間を縫って、見学に来た方からの握手や写真撮影の求めにも気さくに応じていました。笑顔が素敵な奥山さんの今後のご活躍をお祈りいたします。(保)

今年国民読書年。読書週間にあわせて読書の特集をしました。本が大好きな方からたくさんお話を伺うことができました。取材にご協力いただきありがとうございました。(友)

ROOKIE

市内で頑張るフレッシュな人を紹介していきます!

竹越さん

(藤代デザイン事務所)

グラフィックデザイナー(ポスターや商品パッケージなどのデザインをする仕事)として

働いています。藤代デザイン事務所では、七色帆引き舟や茨城空港のロゴマークなど地域に密着したデザインのお仕事も行っていきます。

これからも行方市のためにお役に立てる仕事ができればと考えています。

